

東京混声合唱団 特別定期演奏会
林光メモリアル

東混 八月のまつり 42

混声合唱のための

原爆小景

作曲：林光 詩：原民喜

混声合唱曲集

六つの子守歌

作曲：池辺晋一郎 作詞：別役実

オペラ『森は生きている』より

十二月の歌

作曲：林光 作詞：サムイル・マルシャーク

ぼくらの町は川っぶち

作曲：林光(編曲：寺嶋陸也) 作詞：峯陽

混声合唱による

日本抒情歌曲集より

編曲：林光

早春賦

ゴンドラの唄

ほか

指揮：沼尻竜典

ピアノ：寺嶋陸也

2021年8月7日(土) 15:00 開演 (14:15 開場)

第一生命ホール (晴海トリトンスクエア内)

【全席指定】 一般 4,500円 学生 1,500円 シニア(60歳以上) 3,500円
※学生・シニア券はトリトンアーツ・チケットデスクと東京コンサーツにて販売

【チケット取り扱い】

トリトンアーツ・チケットデスク 03-3532-5702 (平日11:00-17:00)

東京コンサーツ 03-3200-9755 (平日11:00-16:00) <https://www.tokyo-concerts.co.jp/>

東京混声合唱団オンラインチケット <http://toukon.tstar.jp/>

【お問い合わせ】東京混声合唱団事務局 03-3200-9755 <https://toukon1956.com/>



(トリトンアーツ共催公演)

【主催】一般財団法人合唱音楽振興会 【共催】認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール

【助成】文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 【協賛】サントリーホールディングス株式会社



沼尻竜典 (指揮)

NUMAJIRI Ryusuke

びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。ベルリン留学中の1990年、プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、ロンドン管、モントリオール管、ベルリン・ドイツ管、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、ミラノ・ヴェルディ管、シドニー管、チャイナ・フィル等世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本管、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬管、日本センチュリー管のポストを歴任、ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリューベック・フィルとのコンサートの双方において数々の名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演、芸術監督を務めるびわ湖ホールでは、2017年より4年間かけてミヒャエル・ハンベの新演出による《びわ湖リング》を上演、空前の成功を収めた。14年にはオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。

最初に触れた林光氏の作品は、NHK大河ドラマ「国盗り物語」のテーマ音楽だった。日曜日の8時が毎週楽しみで、数分前からテレビの前に座布団を敷いて、待機していた。当時私は小学4年生だったが、よほど好きだったのだろう。NHKに電話し、ドラマ担当部署に「楽譜をください」とお願いしたのである。

そうしたら親切にも、すぐにピアノリダクション版の楽譜が送られてきた。レッスンの曲はそっちのけで、毎日喜んで弾いたのを思い出す。5年生になって地元の児童合唱団に入団し、初年度に歌った曲の一つが「ぼくらの町は川っぶち」だった。シンプルなメロディと伴奏で書かれているが、どこか子供の心をきゅっとつかむものがあった。初めて指揮した林作品は、びわ湖ホールが開館して間もない頃に上演したオペラ「森は生きている」だった。オリジナルはピアノのみの伴奏だが、「是非オーケストラ版を作って欲しい」という私の大胆な希望を、林氏は快くOKしてくださった。今では本家の「こんにゃく座」でも、オーケストラ版で上演されるようになったと聞く。今回の選曲は、これらの個人的思い出に沿ったものとなった。林作品の良き伝道者である私の幼なじみ、寺嶋陸也氏との共演も楽しみだ。



寺嶋陸也 (ピアノ)

TERASHIMA Rikuya

1964年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での演奏や、97年東京現代美術館でのポンピドー・コレクション展開催記念サティ連続コンサート「伝統の変奏」、03年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06年にはタンブルウッズ音楽祭に招かれ、ボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ演奏のほか、東京室内歌劇場やびわ湖ホールのオペラ公演の指揮など、活動は多方面にわたる。「大陸・半島・島／寺嶋陸也作品集 (ALCD-9026)」、「二月から十一月への愛のうた (栗山文昭の芸術2/寺嶋陸也作品集) (VICS-61092)」、「寺嶋陸也plays林光」(NARD5034) など、多くのCDがある。ホームページ www.gregorio.jp/terashima/

東京混声合唱団

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演を行っている。

レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた200曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団や青少年との合同演奏、指導者派遣、ワークショップ・解説付きコンサートも精力的に開催している。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。



林光 (作曲・編曲)

HAYASHI Hikaru

1931年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科中退。尾高尚忠、池内友次郎に師事。1953年関宮芳生、外山健三らと「山羊の会」を結成。同年、「交響曲ト調」で芸術祭賞を受賞。1956年「オーケストラのための変奏曲」で第4回尾高賞を受賞。1961年「裸の島」(新藤兼人監督)で第2回モスクワ映画祭作曲賞を受賞。1996年「ヴァイオリン協奏曲(悲歌)」で尾高賞を受賞。

受賞。社会的メッセージをもった作品も多く、また日本語と音楽との自然な結びつきを探求し、オペラシアターこんにゃく座の芸術監督・座付作曲家として第30回サントリー音楽賞を受賞。近著「私の戦後音楽史」(平凡社)。2008年小学館より「林光の音楽全集1巻」(CD20枚)。2012年1月5日永眠。

第一生命ホール案内図



【会場までのアクセス】

- ◇都営大江戸線「勝どき」駅A2a出口 徒歩8分
- ◇有楽町線・都営大江戸線「月島」駅10番出口 徒歩15分
- ◇都営バス 「都03」「都05」「東15」「市01」「晴海トリトンスクエア前」下車 徒歩4分
- ◇晴海トリトンスクエア内有料駐車場あり

第一生命ホール(晴海トリトンスクエア内)
〒104-0053 東京都中央区晴海1-8-9 TEL 03-3532-3535